

「シミュレーション型ワークショップ」 『豪華なGOKAライフ戦略会議』を開催しました

町では、町の最上位計画となる第6次五霞町総合計画の策定にあたり、20年後の将来のまちづくりについて、市民と行政がともに考えるワークショップを開催しました。

第1弾 2月2日

S I M - G O K A - M A C H I
2030

「SIM（シム）」とは、架空の自治体を舞台に、参加者自身が町役場の職員として、税金の使い方、役所の仕組みや仕事の決め方などをリアルに体験するシミュレーションゲームです。

当日の参加者は、総務部長や都市建設部長など町役場の幹部となり、2030年までに想定される様々な課題に対し、7人で1つのチームを組み協力して立ち向かい、それぞれ独自の将来の町を創りあげました。

第2弾 2月16日

もし五霞が100人の町だったら
第2弾は、「SIM」で町の予算の仕組みや仕事の決め方を体験した参加者が、100体の人形を使って、現在の五霞町の現状を見て、これから五霞町に何が起こるかを体感しながら、みんなで「豪華なGOKAライフ」を目指して、未来の五霞町を考えました。



参加者からは「とても勉強になった」「不安な気持ちになった」など様々な感想をいただきました。

町では、第6次総合計画の策定にあたって、まちづくりの主役である皆さんの意見をいただきながら進めていきます。今後も様々な事業を開催しますので御協力をお願いします。



消費者行政出前講座を実施 しました



3月8日、五霞中学校において、2年生を対象とした「消費者行政出前講座」を実施しました。

当日は、五霞町消費生活相談員の松橋ひろみさんを講師に招き、『契約について』と題し、若者向けインターネットトラブルに関する事案について、クイズや心理チェック、DVD等を使って説明していただきました。

受講した生徒からは、「身近なところでいろいろな問題があるので、今日の講義を今後の生活に活かしていきたい。」という感想がありました。

「キャンドルナイトin五霞」 を開催しました

2月16日、役場敷地内において、五霞町ネットワーカー連絡協議会主催による「キャンドルナイトin五霞」を開催しました。

この事業は、東日本大震災や平成27年9月関東東北豪雨、平成30年7月豪雨などの自然災害による犠牲者への追悼と家族や地域の絆への想いを次の世代へ繋いでいくことを目的に実施しています。

今回は、4月に五霞誕生130周年を迎えることから、装飾したキャンドルの入った容器を「ごか130th」という文字に配置させ、それぞれの想いを寄せながらキャンドルに火を灯しました。



「ごか130th」の文字を象ったキャンドル